

2024年7月11日

株式会社 T2
佐川急便株式会社
セイノーホールディングス株式会社

**日本初*¹、レベル 4 自動運転トラック幹線物流輸送実現に向けた公道実証を開始
～ T2・佐川急便・セイノーHD、サステナブルな物流の実現に向け、自動運転トラック
による幹線輸送の可能性と実用性を検証 ～**

株式会社 T2（東京都千代田区、代表取締役 CEO：森本 成城、以下「T2」）と佐川急便株式会社（京都府京都市、代表取締役社長：本村 正秀、以下、「佐川急便」）、セイノーホールディングス株式会社（岐阜県大垣市田口町 1、代表取締役社長：田口 義隆、以下、「セイノーHD」）は、2024 年 10 月から 2025 年 6 月にかけて、T2 が開発した自動運転トラックを用いた幹線輸送*²の実証実験を、東京・大阪間の高速道路一部区間で実施します。本取組みは、レベル 4 自動運転*³トラックによる幹線輸送実現に向けての大きな一歩となります。

1. 背景および目的

昨今、トラックドライバーの労働時間見直しに伴うトラック輸送能力の低下が社会課題（2024 年問題）となっており、国の試算によると 2030 年には 34.1%の輸送能力が不足すると言われています。

持続可能な物流の実現に向け、陸送を長距離フェリーや鉄道に置き換えるモーダルシフトの推進、ラストワンマイルでの AI による配送ルート提案等、課題に対し様々な施策を講じている佐川急便・セイノーHDと、自動運転トラックの技術開発を行っている T2 が手を取り合い、運送オペレーションノウハウと自動運転技術を掛け合わせることで、新たな運送モデルを創造、2027 年にはレベル 4 自動運転トラックを活用した幹線輸送の実現を目指しています。

幹線輸送は経済や国民の生活を支える大動脈であり、持続可能な物流を実現したいという 3 社の想いにより今回の実証実験は実現しました。様々な条件下の公道において、運送事業者である佐川急便、セイノーHD の荷物を輸送することで、将来の事業化に向けた、知見の獲得や改善点の洗い出しを目的としています。また、今回の実証実験をきっかけに自動運転トラックでの幹線輸送実現に向けた協議会の設立も今後検討してまいります。

*1 レベル 4 自動運転トラック幹線物流輸送を目指した貨物積載状態での公道実証として日本初
（2024 年 7 月 11 日時点、各社公式ウェブサイト及び報道発表資料に基づく T2 調べ）

*2 幹線輸送（路線便）：周辺エリアの大量の荷物を集めた拠点から、他のエリアの集積拠点まで大型トラックなどで輸送すること

*3 レベル 4 自動運転：特定の走行環境条件を満たす限定された領域において、自動運行装置が運

転操作の全部を代替する状態

2. 実証概要

- 期間：2024年10月～2025年6月
- 場所：東京～大阪間
 - 東名高速道路
 - 新東名高速道路
 - 伊勢湾岸道
 - 名神高速道路
 - 新名神高速道路
 - 京滋バイパス
- 参加企業
 - 株式会社 T2
 - 佐川急便株式会社
 - セイノーホールディングス株式会社



* 上記写真左より 佐川急便 取締役 枝川和弘、セイノーホールディングス 執行役員 河合秀治、T2 代表取締役 CEO 森本成城



- 実証内容

- トラックレベル 4 自動運転に向けた高速道路上での自動運転
- 貨物を積載した幹線輸送における自動運転の路線検証

※すべての実証実験はドライバー乗車の上、レベル 2 相当で行います。

【代表コメント】

T2 代表取締役 CEO 森本成城

今回の実証は、2025 年の事業開始に向けた重要なステップです。「日本の物流を共に支える」という大義に共感頂き、素晴らしいパートナーと共に自動運転技術を活用した未来の物流に向けたチャレンジができること大変嬉しく思います。今後、セイノーHD・佐川急便と共に自動運転トラックでの幹線輸送実現に向けた協議会の設立を目指しておりますが、本取組みを加速化させるべく、自動運転トラック幹線輸送に関わる幅広い業界の方々からの御賛同・御参画を切に願っております。

佐川急便 取締役 輸送ネットワーク・施設投資担当 枝川和弘

物流業界においてドライバー不足により輸送能力が不足すると懸念されている中で、自動運転トラックは有力な輸送力確保手段と考えています。官民でのインフラ整備計画も進んできておりますので、実証実験による知見の獲得と社会からの認知が加わり、自動運転トラックによる輸送が早期に実現されることを期待しています。

セイノーホールディングス 執行役員 オープンイノベーション推進室室長 河合秀治

当社では、2024 年問題や環境問題等の社会課題に対し、オープン・パブリック・プラットフォームの概念のもと、中長期の経営方針として『Team Green Logistics』のスローガンを掲げ、ロジスティクス・貸切・特積みの 3 つの領域を中心として他社連携に取り組んでいます。このような中、T2 様・佐川急便様と共に実証実験に挑めることは、持続可能な物流を実現し、お客様の繁栄に貢献できると考えており、一般の連携を大変光栄に思います。

【各社概要】

■株式会社 T2

本社所在地：東京都千代田区内幸町二丁目 2 番 3 号 日比谷国際ビル 1 階

代表者：代表取締役 CEO 森本成城

設立日：2022 年 8 月 30 日

事業内容：

自動運転システムの開発、レベル 4 自動運転トラックによる幹線輸送サービス事業、幹線輸送に付随した関連サービス事業、その他関連サービス事業

企業サイト URL：<https://t2.auto/>

■佐川急便株式会社

本社所在地：京都府京都市南区上烏羽角田町 68 番地

代表者：代表取締役社長 本村正秀

設立日：1965 年 11 月 24 日

事業内容：宅配便など各種輸送にかかわる事業

企業サイト URL：<https://www.sagawa-exp.co.jp/>

■セイノーホールディングス株式会社

本社所在地：岐阜県大垣市田口町 1

代表者：代表取締役社長 田口義隆

設立日：1946 年 11 月 1 日

事業内容：輸送事業、自動車販売事業、物品販売事業、等

企業サイト URL：<https://www.seino.co.jp/seino/shd/>

【お問い合わせ先】

株式会社 T2 広報 e-mail: pr@t2.auto

佐川急便株式会社 広報部 広報企画課 TEL：03-3699-3614

セイノーホールディングス株式会社 ブランド広報戦略室 TEL：0584-82-5002

以上